

「中学から私立」を実現するには生活費はいくら？ 貯金はいくら必要？

年収が600万円、 800万円だどどうなる？

年収八〇〇万円と六〇〇万円家計における教育の可能性を、生活費が標準家計か節約家計か、貯金がいくら必要かというふたつの観点から検討してみよう。

まず、年収八〇〇万円の場合だが、標準家計の場合、子供ふたりを私立中学に進学させるには、長子の中学受験前に一六二五万円の貯金が不可欠という結果が出た(左表参照)。しかし、四〇代で住宅購入後に一五〇〇万円以上の貯金を持つている人はほとんどいない。したがって年収八〇〇万円の場合、まずは、節約家計への移行が必須だ。

年収800万円家計

中学から私立に行かせるための条件
標準家計(節約家計)の場合

月々の基本生活費	187万円
その他の生活費	107万円
住宅ローン	100万円
車買い替え	100万円
必要な貯金	1625万円

年収600万円家計

中学から私立に行かせるための条件
標準家計(節約家計)の場合

月々の基本生活費	187万円
その他の生活費	107万円
住宅ローン	100万円
車買い替え	100万円
必要な貯金	2200万円

節約家計の場合、必要な貯金は二〇〇万円程度となる。ただし毎月の基本生活費は一八万円が限度。家族四人でこの生活費はかなり質素だ。しかも、節約した上でよほど綿密なライフプランを立てないと難しい。

一方、年収六〇〇万円の場合、子供ふたりを私立中に入れるのはほぼ絶望的だ。標準家計の場合、長子の中学受験前に約二二〇〇万円の貯金が必要。節約家計の場合、毎月の基本生活費を二三万円まで落とすと貯金は二〇〇万円でもオール私立が可能だ。しかも、住宅ローンの借入れは一五〇〇万円が限度、車は所有せずとい

う、超質素な生活を送らねばならない。住宅価格が高い、都会ではまず無理だろう。しかし、地方のバリエーションを探し、近所に移住する手はある。子供の教育にすべてを捧げるなら、そんな選択もありだ。

大卒十代の教育メニューを追加でいくら必要か。

将来稼げる 有望職種につかせるには？

高年収が期待できる医師(平均年収一〇四七万円)、弁護士(平均年収二〇九七万円)、外資系エリート(ゴールドマン・サックス全社員の平均年収七二五〇万円、二〇〇六年度)になるための追加費用を示した。

「どうしても医者」なら、
私大医学部も選択肢に。
6年間で3000万円が
スタンダード。

国立でも200万円は必要。
早期合格を期すなら、
専門塾などを併用。
さらに100万円プラスは覚悟。

節約家計で出現する教育余力(二七〇)をフルに使えば、長男は医者、長女は国際弁護士なんてことも可能。しっかりと節約して、わが子に投資！ 額に見合うだけの充実した未来がきつと手に入る！

一流校の学費は超高額。
「これで行ってこい!」と
札束を渡せれば、
かっこいいのだが……。

医師にする

国立大学に
上乗せ 私立大学文系に
上乗せ

- 東大医学部
- 慶應義塾大学医学部
- 東京医科大学
- 東京歯科大学

弁護士にする

2年コース学費 3年コース学費

- 東京大学法科大学院
- 慶應義塾大学法科大学院
- 早稲田大学大学院法務研究科
- 中央大学法科大学院

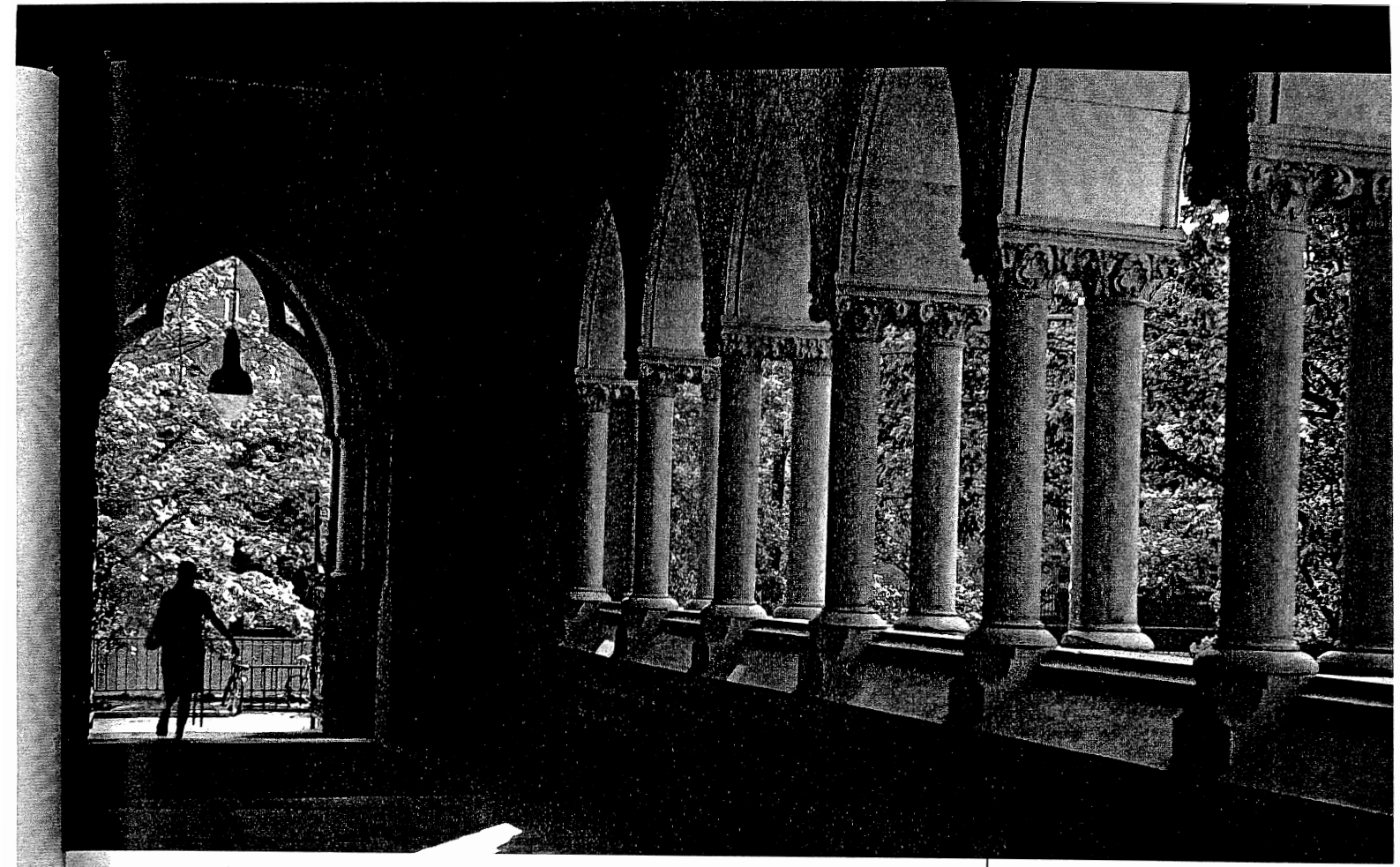
外資系エリートにする

2年間学費
+滞在費

- ハーバード・ビジネススクール
- ハーバード・ケネディスクール
- コーネル・ロースクール(1年)
- UCLA大学院
- MIT大学院

(アゴス・ジャパン調べ)

イメージしていただきやすいように、数字は概算となっています。本来であれば、約〇〇万円とすべきですが、省略しています。正確な金額は各大学のホームページ等でご確認ください。「医師にする」の金額は、国立大学に4年間通った場合、私立大学(文系)に通った場合と比較したもの。医師、弁護士の平均年収は平成17年厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より。留学費用は1ドル=112円で計算。



ハーバード、
スタンフォード、
イェールは
年間
500万円

東大の上をゆく 世界の 超一流校の お値段

世界の大学ランキングで、東大より高く評価される
ハーバードやオックスフォードなどのスーパー大学。
いったいどこがどう凄いというのか。
そして、うちの財布でわが子を行かせられるのだろうか。

学力、経済力ともに ハーバードは極めて高い

①三三八四億円、三三六〇億円、一八四二億円。②二三五〇万円、一六八〇万円、五一八万円。

これらの数字が何か、見当がつくだろうか。①の三つは、スタンフォード大学、ハーバード大学、東京大学それぞれの二〇〇六年度の予算規模。②の三つは、それらを各大学の学生数(大学院生を含む)で割った数だ。各種の世界大学ランキングで常に一ケタ台を維持する、欧米の超一流大学の凄さが垣間見える数字だ。

「どうせ狙うなら東大より上」——日本の進学校に通いながら、そんな道を歩む若者たちが少数ながら現れつつある。八〇年代末から社会人向けにMBA留学などの支援を行ってきたアゴス・ジャパン(東京・渋谷区)では、〇七年の秋から「海外トップ大学進学準備プログラム」と題したコースを開設。日本の高校から直接海外の名門四年制大学を目指す生徒たちに、TOEFL(留学生向け英語力検定試験)やSAT(アメリカの大学進学適性試験)で高得点をマークするための講座を実施し



ている。「現在一〇〇人ほどの受講生のうち、五〜六人が世界トップ10クラスの大学に出席しています」と、同社の後藤道代氏は言う。

欧米の大学の入学審査は、日本のシステムとはかなり異なる。アメリカの一流校を例にとると、要求されるのは①高校三年間の学業実績を示す内申書と担任などの推薦状 ②SAT及びTOEFLのスコア ③英語による課題作文(エッセイ)の合わせて三つで、学校によってはこれに面接が加わる。

トップ10クラスの超一流校が要求するTOEFLスコアの相場は、インターネットを用いたiBT方式のテストで一〇〇以上と、「東大の英語なら楽勝で解けるレベル」(後藤氏)。SATも基本的な「リズニング」(英文読解、数学、英作文)に加え、「サブジェクト」と呼ばれる選択科目テストを最大三科目ほど受ける必要

があり、そのどれもが八〇〇満点で七〇〇以上のスコアを要求される。

さらに、これらのスコアより重視されるのが、高校時代の成績や、勉強以外の活動への参加姿勢だ。単に「部活を積極的にやりました」では不足で、リーダーシップを取ったり、何か新しいことを自分で始める姿勢が求められる。「大学に入ってから高いパフォーマンスを示す資質があるかどうか、全人的に見極めようとしていると感じます」(後藤氏)

そして気になる留学費用だが、一年間に学費としてまず三万〜四万円。それ以外に寮費が一万円、細かな必要経費が数千円、というところがだいたい相場だ。日本円に換算すればおよそ五〇〇万〜六〇〇万円台の費用が、卒業まで毎年かかることになる。各種の奨学金制度も用意されているが、留学生にとってはハーバードが高い場合も多く、最初から支給を当てにして留学に踏み切るのは無謀だ。

それでも、世界中から集まるトップクラスの仲間と一緒に、自分で選んだ分野の勉強に励めるのはこのうえない幸福だろう。十分な学力と経済力の裏付けがあれば、検討の価値は確かにある。

ハーバード大学

①	30億ドル(3360億円)
②	349億ドル(3兆9088億円)
③	1550万冊
④	1.4人
⑤	9%
⑥	31%
⑦	43人

スタンフォード大学

①	32億ドル(3584億円)
②	141億ドル(1兆5792億円)
③	820万冊
④	8.2人
⑤	6%
⑥	33%
⑦	27人

オックスフォード大学

①	6億600万ポンド(1382億円)
②	33億ポンド(7524億円)
③	1100万冊
④	4.5人
⑤	14%
⑥	63%
⑦	48人

東京大学

①	1842億円
②	N/A
③	849万冊
④	5.4人
⑤	2%
⑥	27%
⑦	5人

世界トップ校は 東大より金持ちで かつ国際的だ

- ① 年間予算 ② 大学の基金
- ③ 図書館蔵書数
- ④ 教員一人あたりの学生数
- ⑤ 留学生の割合(学部)
- ⑥ 留学生の割合(大学院)
- ⑦ ノーベル賞学者輩出数

ヤフーもグーグルもこの大学から始まった

スタンフォード大学

年間費用
4万5608ドル
(約511万円)

所在地：米カリフォルニア州

スタンフォード

創立：1891年

学部生数：6689人

(2007年度、以下同)

大学院生数：8201人

教員数：1807人

学部の留学生比率：約6%

8180エーカー(約1000万坪)の広大なキャンパスを誇る、米西海岸を代表する名門大学

シリコンバレーに優秀な頭脳を供給する機関として名高く、大手検索エンジン兼ポータルサイトのヤフーやグーグルも、この大学の学生が在学中に始めたプロジェクトだった。一方で文系分野での評価も高く、ビジネススクールはハーバードのそれと肩を並べる存在。コロンビア大学と並び、アメリカにおける日本研究の一大拠点でもある

入学審査に面接はなく、高校の成績証明やSATスコア、作文などの書類審査で判断される。ただし、他の名門校にも増して勉学以外の実績(五輪代表クラスのスポーツ経験、音楽コンクールでの受賞歴、各種組織でのリーダーシップなど)が問われる傾向があるといわれる

学費と寮費を合わせた年間の費用は平均4万5608ドルと、全米屈指の高さ。大学の公式サイトには、留学生は受験時に申請すれば、各家庭の経済状況を審査したうえで学費支援を受けられるが、予算枠の関係から申請の有無が合否判定に影響すると記されている

4兆円近い巨大基金で世界最強の財政基盤

ハーバード大学

年間費用(学費+寮費、以下同)
4万3655ドル
(約489万円)

所在地：米マサチューセッツ州

ケンブリッジ

創立：1636年

学部生数：6715人

(2006年度、以下同)

大学院生数：1万2424人

教員数：2497人(医学部以外)

1万674人(医学部)

学部の留学生比率：約9%

米東海岸の大都市ボストン近郊にある、アメリカ最古の大学。文系理系を問わず幅広い分野に強く、ビジネススクールと医学部はとくに有名。OBからの寄付金などを集めた大学基金は349億ドル(約3兆9088億円)に達し、世界で最もリッチな大学でもある

校風はどちらかといえばリベラルかつ野武士的。入学後1年間は新生寮で過ごすことを求められるが、その後も引き続き寮生活を送る学生が大半だ

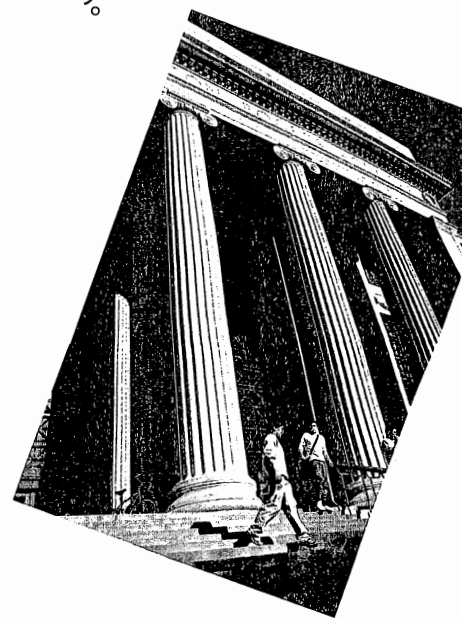
入学審査は最難関。SATのスコアは満点近くを要求されるが、学カー辺倒では合格できず、リーダーシップや際だった個性などが、卒業生による英語での面接や課題作文などで問われる

寮費を含めた年間の納入金は4万3655ドルと、アメリカで最も学費のかかる大学の一つ。ただし、学費補助制度が充実しており、学部生の約70%が何らかの経済的支援を受けている(平均支援額は年間約3万ドル)。アメリカ人学生と留学生のどちらにも同じ制度が適用されること、学費補助の要不要が合否判定に影響しないことなどを明確にうたっている

The World's Best Universities for the Bests & Brightests

世界大学ランキングの トップ10常連リスト

欧米の複数の大学ランキングで、コンスタントに上位をキープする「一流校」。どんなハードルをクリアできれば、その魅力的な環境に飛び込めるのだろうか。入学審査や必要な学力、そして年間のコストなどをまとめてみた。



*学費等は1ドル=112円、1ポンド=228円で計算してあります。

Stanford University

Harvard University

世界のテクノロジー
研究の頂点

マサチューセッツ 工科大学(MIT)

年間費用
4万3550ドル
(約488万円)

所在地: 米マサチューセッツ州

ケンブリッジ

創立: 1865年

学部生数: 4127人

(2006年度、以下同)

大学院生数: 6126人

教員数: 998人

学部の留学生比率: 約9%

ほぼ毎年のようにノーベル賞
学者を出す、世界最高の理系大
学。ニコラス・ネグロポンテが
創設したメディアラボなど、コン
ピュータ関連の先駆的な研究
のイメージが強いが、NASA
(米航空宇宙局)や国防総省、エ
ネルギー省をはじめとする国家
機関や、内外の企業から受託す
る研究はあらゆる分野に及び、
まさにアメリカの科学力を支え
る頭脳センターといえる。現役
教授陣のうち7人もノーベル賞
受賞者がいるのも圧巻だ。

入学審査は中学時代からの成
績証明、SATスコア、内申書、
エッセイ、卒業生による面接な
ど。学力だけではなく、ボラン
ティアやスポーツなどの活動歴
も問われる。2006年の入試では
出願者に占める合格者の割合は
13%だった。

本代や雑費を含めると、年間
経費の総額は推定500万円以上。
入学希望者の必要に応じて学費
援助が行われ、入学審査の可否
には影響しない。MITに通う留
学生の80%は何らかの経済的
支援を受けており、一人あたりの
支給額は年間3万ドル以上。
留学生向け支給の総額は年800
万ドルを超えるという。

ニュートンやケインズの
後輩になれる光栄

ケンブリッジ 大学

年間費用
1万2537ポンド~
(約286万円~)

所在地: 英ケンブリッジシャー州

ケンブリッジ

創立: 1209年

学部生数: 1万1729人

(2005年度、以下同)

大学院生数: 6293人

教員数: 5219人

学部の留学生比率: 約10%

13世紀初頭にさかのぼる歴史
を持ち、オックスフォードとど
もにイギリスを代表する名門大
学。ニュートン、ダーウィン、
ヘーコン、ケインズなど、世界
史に残る学者を数多く輩出して
おり、歴代のノーベル賞受賞者
も82人を数える。

オックスフォードと同様、31
あるカレッジが教育システムの中
で大きな位置を占める。さら
に特筆すべきは、学部生の募集
がカレッジごとに行われること。
志望生はウェブサイトなどで各
カレッジの特徴を把握し、希望
のカレッジに願書と必要書類を
提出することになる。

上記のカレッジ制に加え、イ
ギリスの教育制度に基づく学力
基準は示されていないなど、
学部留学を希望する者にとって
はやや敷居が高い印象。それ
でも学部生の10%、大学院生の40
%以上は留学生が占める。入学
審査が面接重視なのは、オック
スフォードと同様だ。

学費は専攻によるが、医学課
程を除けばオックスフォードと
ほぼ同等。これに3300~4400ポ
ンドの寮費、7000ポンド弱の生
活費が加わる。留学生向け奨学
金はぎわめて狭き門。

1000年前から息ついできた
英語圏最古の教育・研究施設

オックスフォード 大学

年間費用
1万3935ポンド~
(約318万円~)

所在地: 英オックスフォード州

オックスフォード

創立: 11世紀頃

学部生数: 1万2106人

(2005年度、以下同)

大学院生数: 7380人

教員数: 4285人

学部の留学生比率: 約14%

11世紀には創立されていたと
される、英語圏最古の大学。25
人の英国首相、48人のノーベル
賞受賞者を出した超一流の機関
である。各国文化学からバイオ
テクノロジーまで、幅広い分野
で定評があるが、ビジネス関連
などの「実学」よりは「学問」
を探究する校風とされる。

修道院制度をルーツとする、
イギリス特有のカレッジ(学寮)
制をとる。39のカレッジは学生
の日々の生活の場であると同
時に、少人数やマンツーマンでの
学問指導の場となる(学部単位
の人数での講義も別にある)。

SATやTOEFLの基準スコア
はハーバードと同等。ただし、
最も重視されるのは英語による
本人面接といわれ、加えて各種
の論文提出や筆記テストが求め
られることもある。

年間の学費は専攻によって異
なるが、9235~1万2315ポンド
(約210万5600~280万7800円)。こ
れに4700~5300ポンドの寮費
が加わる。学生の平均的な生活
費は約7300ポンドで、合計する
と年間500万円以上。留学生向
けの奨学金枠は限られており、
親はかなりの出費を覚悟する必
要があるだろう。

Massachusetts Institute of Technology

University of Cambridge

University of Oxford